

事務事業名		臨時講師配置事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	0:6: 豊かな心を育む人づくり事業		事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入		予算科目				
	施策名	2:6: 幼児教育の充実				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:2: 就学前教育・指導の充実				01	10	04	01	06
根拠法令										
所属	部課名	教育委員会 学校教育課								
	係名		電話 0192 - 27 - 3111 内線 287							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 幼稚園教諭の欠員が生じている市立幼稚園に、臨時講師(幼稚園教諭)を配置する事業。 主な業務は、臨時講師の公募(市広報への掲載、職業安定所への求人申込)、人選(書類審査、面接)、雇用手続き、採用者への業務説明等 事業費は、賃金として支出される。						全体計画 (期間限定複数年度のみ)				
						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		
							財源内訳	都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
							事業費計 (A)	0		
						人件費	正規職員従事人数			
							延べ業務時間			
							人件費計 (B)	0		
							トータルコスト(A) + (B)	0		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 綾里幼稚園に臨時講師1名を配置した。		名称	単位
今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 2名 (綾里及び吉浜幼稚園) 配置予定。		ア 配置する臨時講師数	人
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 幼稚園教諭が欠員となっている市立幼稚園		イ	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 幼稚園教諭が配置される。		ウ	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 基本的な生活習慣や態度が身につく		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 教諭欠員のある市立幼稚園数	園
		キ	
		ク	
		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 教諭欠員が生じている幼稚園において、臨時講師が配置された幼稚園の割合	%
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
		国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
	その他							
	一般財源		2,095	1,818	1,896	2,747	2,381	4,820
	事業費計 (A)		2,095	1,818	1,896	2,747	2,381	4,820
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10
人件費計 (B)	千円	40	40	40	40	40	40	
トータルコスト(A) + (B)		千円	2,135	1,858	1,936	2,787	2,421	4,860
活動指標	ア	人	2	1	1	1	2	2
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	園	1	1	1	1	2	2
	キ							
	ク							
成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100
	シ							
	ス							

事務事業ID	0983	事務事業名	臨時講師配置事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 以前から（詳細な時期は不明）。	
事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ この事業としては特に変わっていないが、生活形態の多様化とともに、保護者の保育ニーズが変化している。	
この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？ この事業としては特に無いが、一部地域の住民から、就学前の子どもに幼児教育と保育を一体的に提供する「認定子ども園」設置の要望が寄せられている。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 教諭が欠員となっている幼稚園において、幼稚園教育を円滑に行うには、臨時講師（幼稚園教諭）の配置は必要不可欠である。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 市立幼稚園への臨時講師の配置は市の責務である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 教諭の欠員が生じている幼稚園へ必要不可欠な教諭（臨時講師）を配置する事業であり、対象・意図とも適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 臨時講師の配置は、幼稚園教育の円滑な実施のためには必要最低限のものである。 これまで100%配置して欠員を解消しており、向上の余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 臨時講師の欠員は、幼稚園教育の円滑な実施に大きな支障となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 類似事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 園児数が少ない幼稚園においては、より大きな集団の中で幼児教育を行うよう、異年齢児を混合クラスで編成することも必要と考える。また、認定子ども園の導入を図ることを視野に職員の配置数も検討していく必要がある。
	人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 臨時講師は賃金であるし、1名の担当職員が雇用関係の事務処理をしていることから、人件費の削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 幼稚園教育を円滑に行うために臨時講師を配置しており、特定の受益者に偏っていない。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)          幼稚園教諭が欠員となっている幼稚園へ臨時講師を配置するとともに、園児数が少ない幼稚園(綾里、越喜来)は、異年齢児を混合クラスで編成(一人の幼稚園教諭が指導)している。また、認定子ども園の導入を図ることを視野に職員の配置数も検討していく必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)          教諭の欠員に対応するため、臨時講師を配置する。          園児数が少ない越喜来幼稚園及び綾里幼稚園を混合クラスとする。          認定子ども園の導入を図ることを視野に職員の配置数も検討していく必要がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果          左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。          (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等          幼稚園教育においては、児童の年齢(育ち)によって教育内容が異なることから、混合クラスを編成して一人の幼稚園教諭が異年齢児童と一緒に指導する場合には、高い資質を有する幼稚園教諭の配置と教育環境の充実が望まれる。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	学校教育課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)  <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい  <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)  <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)  <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由          園児の減少により、綾里幼稚園、越喜来幼稚園は混合クラス編成で効率的な運用を図っている。今後認定子ども園が開設されることから、職員の配置数の検討をしていく必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)          認定子ども園の開設を視野に入れた職員配置数の見直しをしていく。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果          左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。          (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------